

知っておきたい関節痛の みかた・考えかた

整形外科医に限らず内科医であっても、日常診療のなかで関節痛を訴える患者を診察する機会は少なくない。関節痛は文字通り「関節の痛み」ではあるが、変形性関節症に代表されるように関節そのものに起因する痛みもあれば、靱帯付着部炎など関節周囲の軟部組織に由来する痛みもある。さらに関節リウマチや乾癬性関節炎のように、関節痛が全身性疾患の症状の1つである場合も少なくない。

本特集では、日常診療で「関節痛」に遭遇した時に想起すべき一般的な疾患について、臨床の最前線でご活躍の内科系・整形外科系の先生方に解説していただいた。前半は「関節痛から疾患を考える」として疼痛部位から関節痛の鑑別診断を考える。成人に加えて小児の関節痛についても項目を立てて解説していただいた。後半は逆に「疾患から考える関節痛」として、関

節リウマチ、乾癬性関節炎、強直性脊椎炎(X線基準を満たさない体軸性脊椎関節炎を含む)、痛風・偽痛風を取り上げ、これらの疾患に伴う関節痛の特徴について解説していただいた。さらに、最近増加しつつある「高齢発症の関節リウマチ」、実際の臨床場面で迷うことも少なくない「抗CCP抗体陰性の単関節炎の考えかた」や「整形外科医へのコンサルトのタイミング」についても、項目を立てて取り上げた。

執筆を快くご承諾くださった先生方はどなたもこの道のエキスパートであり、平易な言葉でわかりやすくご解説いただいている。読者諸氏におかれましては、ぜひエキスパートたちの「関節技」を習得し、明日からの診療にお役立ただけければ企画者としてこの上ない喜びがあります。

国立障害者リハビリテーションセンター病院

仲村一郎

東京大学大学院医学系研究科整形外科学

田中 栄